

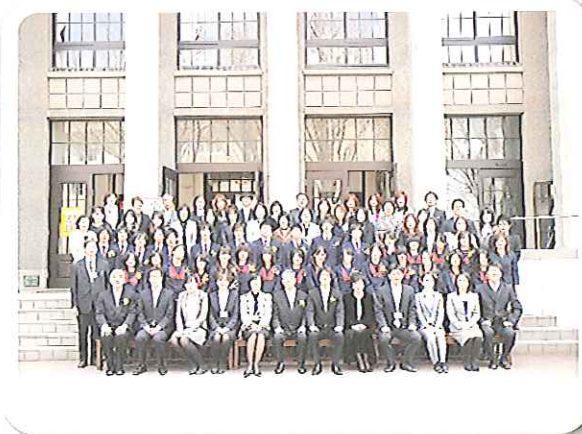
J3-1

私たち3年1組はとても元気で楽しく、笑いが絶えないクラスです。授業中はちょっとうるさくて先生に注意されることもあったけど、学校行事では、みんなで協力し合って団結力を深めることができました。毎日楽しく過ごしています。去年の夏休みにはクラスの学校キャンプを行い、バレーボールやドッチボール、バーベキューに肝試し、花火などたくさんの思い出を作った最高の夏休みでした。また体育祭の「台風の日」では放課後にもたくさん練習したけど、1位じゃなかったのがみんなとても悔しかったです。でも、絆を深めることができましたし、皆の心の中に、すばらしい何かが生えたと感じます。卒業しても、3-1の友情は永遠のものだと思います。



J3-2

私たちは、女子19人、男子10人の31人の3年2組です。私たちは、男女共に仲がよく楽しいクラスです。クラスの特徴としては、やる事はしっかりやりながら、軽くやる時は軽くやっていることです。クラスの目標は、ケジメをしっかりつけて、楽しむときは楽しむことです。そのケジメの1つとして、3年2組の掃除は、どのクラスにも負けない自信があります。自分たちで精一杯の環境を作り、日々成長を目指しています。とにかく、担任の先生から生徒まで、とても明るくノリの良い楽しいクラスです。



吹奏楽部

2010年冬のコンクール、ルーテル史上初の金賞受賞

私たち吹奏楽部は、日々練習をがんばっています。主な活動は、サッカーや野球の応援、夏冬のコンクール出場、定期演奏会開催、音楽会への出演です。今は、2011年4月9日(土)にある第15回定期演奏会に向けてがんばっています。

練習では、高校生と一緒に一生懸命がんばっています。初心者でも楽譜が読めなくても、大丈夫です。第一音楽室で練習しているので、興味がある人は見に来てください。



ESS部

私たちESSクラブは今年度は1年生と2年生で活動を行いました。アメリカ人のジェニファー先生とジョン先生が中心になって楽しいゲームや工作をしたり、ハロウィーン、クリスマスにはパーティーをしました。また、誕生日のパーティーもあり、いつも笑いの絶えない、楽しい活動を行っています。英語が得意なひとだけではなく、少しでも英語に興味ある人なら誰でも楽しめる部活だと思います!



中学ルーテルだより

Vol.12
2011年3月30日発行

熊本市黒髪3丁目12-16
ルーテル学院高校
印刷:(株)アイキャッチ

<http://www.luther.ed.jp/>



卒業おめでとう!!

「巣立ちの日」



3月11日、第64回ルーテル学院中学卒業式が礼拝堂で行われました。中学3年生61名は、同窓会から贈られたフリージアのコーサージュを胸に、この日の晴れ渡った空に負けないくらい希望あふれる生き生きとした顔で卒業式に臨みました。卒業証書を一人一人校長先生から授与される姿は凛としていて頼もしく、この3年間の心と体の成長を感じさせました。在校生が心を込めて歌ってくれた「旅立つ友へ」、そして卒業生の「翼をください」の合唱曲が礼拝堂に流れ、感極まって涙する人もいました。2年生の生徒会長米村拓馬くんが先輩達への感謝の気持ちを述べると、答辞では、3年生の坂井佑さんが卒業生代表として、中学3年間の思い出やこれからの決意を語ってくれました。「また、式後のホームルームでは、それぞれ仲間達へ感謝の気持ちを伝え、卒業の喜びを分かち合うとともに別れを惜しんでいました。

これからの人生には多くの困難が待ち受けていると思いますが、朝夕の礼拝や聖書の学びを通して培われた「感恩奉仕」の精神が、卒業生のこれからの人生の一つの指針として示されていくことでしょう。巣立っていく一人一人の行く手が幸多いことを願います。



「卒業にあたって」卒業生代表 3年1組 坂井 佑

「長いようで短かった中学生生活も今日で終わり、四月から高校生になります。ルーテルに残る仲間、外へ出て行く仲間、それぞれ、また新しい場所で多くの人と関わり、たくさんの素晴らしい経験を積み、学んでゆくことでしょう。この別れを悲しみとしてでなく、希望に満ちた可能性として受けとめ、新しい生活をスタートさせます。

在校生の皆さん、これからのルーテル学院を担っていくのは皆さんです。みんなでたくさん意見を出し合って新しいことにどんどんチャレンジしていきましょう。

そして今まで一緒に過ごしてきた三年生。三年間楽しく生活できたのはみんなのおかげです。教室にはいつもみんなの明るい笑顔と笑い声が響いていました。毎日がもったいないくらい幸せでした。本当に今までありがとう...

私たちはこの三年間、キリスト教の教えを学ぶことができました。「感恩奉仕」これはこの学校の建学の精神です。私はルーテル学院に来て初めてこの言葉を知り、今では私たちが生きてゆく上で忘れてはならない言葉だと思っています。だから、今、この言葉を胸に刻み、それぞれの将来に向かってこれからもがんばっていきます。」



沖縄研修旅行を終えて



2010年12月7日～10日に沖縄へ研修旅行に行ってきました。沖縄では、戦争の恐ろしさや沖縄独自の文化を学び、そして熊本では見られないような亜熱帯の自然に触れることができました。また、熊本県の中学校では、初となる「サンゴ再生プロジェクト」に参加し、サンゴの移植を体験しました。



2年1組 吉村 達也

自分は、研修旅行に行って、多くの事を学びました。まずは、戦争についてです。自分は、研修旅行に行く前からニュースなどで戦争の恐ろしさなどを見てきました。それだけでも、戦争は絶対にあつてはいけないことだと思っていました。それに加えて、実際に壕や資料館などを見ました。壕には、実際に入りました。入ってすぐに真っ暗になりました。そう思うと、実際に戦争に起こっている時に、人がこの中に入っていたら、どんな気持ちなんだろうと真剣に考えることができました。資料館では、戦争で亡くなった人々の写真や当時の物や本や手紙などを見ました。すごく悲しい気持ちになりました。次は、命の大切さについてです。壕に入る前に話がありました。戦争では絶対に命を落としてはいけないことを学びました。続いて、海についてです。今、沖縄の海では、サンゴ礁が全滅していっています。それを知って、もっと海を大切にしていきたいなと思いました。その環境をグラスボートに乗って見ました。すると、死んでいるサンゴ礁がたくさんありました。でも、魚は元気でした。その後、サンゴ礁の植え付けがあったので、大切に植え付けました。最後に、バスの中での事です。盛り上がることはいいけど、けじめがついていなかった部分がありました。先生から何度も注意されました。でも、良い経験になったと思いました。



中学1年生！慈愛園訪問！！



宗教部 野口 若菜

2010年12月22日、クリスマス礼拝の後、中学1年生は慈愛園パウルスホームを訪問しました。この日のために讃美歌やクリスマスソングを準備し、施設の利用者の方と一緒に合唱したり、手作りのクリスマスカードを利用者の方に手渡しをしたりと、短い時間でしたが楽しい交流の時間を過ごしました。

精力的に活躍中の生徒会



2年1組 生徒会長 米村 拓馬

生徒会は、米村生徒会長を中心に活動を開始しました。すでに、卒業前に行われる「3年生を送る会」を成功させたり、震災にあったニュージランドのために千羽鶴と手紙を送ったり、また東日本大震災の復興を願い、被災した地域にメッセージ入りの応援幕を送ったりと、精力的に活動をしています。これからも、生徒会の活躍に目が離せません。



▲スケート研修で活躍する生徒会

職場体験で学んだこと



2年1組 橋本 紗弥

私は、職場体験の3日間「すし市場」で過ごしました。

思っていた以上に大変な仕事で、特にお客様が多い時間帯は、とてもハードで走り回っていました。私が一番心に残っていることは、接客の難しさです。お客様を席へご案内したり、食後の皿やコップを片付けたりと、日ごろできない体験をたくさんしました。「いらっしゃいませ」、「ありがとうございます」と笑顔で声を出していたら、店長が「君たち、卒業後はうちの店で働かん?」と言われたので嬉しかったです。

この職場体験で、私は仕事の大変さ・お客様と接する言葉遣いをしっかり学ぶことができ、とても良い勉強になりました。ここで学んだことをこれからの人生に生かして、少しずつ前進していきたいです。3日間という短い期間だったけど、とても大切な経験をさせていただき感謝しています。

冬から春にかけての行事を振り返って

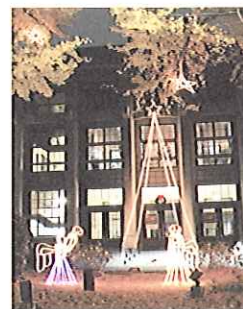


強歩会

11月20日(土)に毎年恒例の強歩会が行われました。土曜日開催ということで、お年はたくさんのお父さん、お母さんのご協力を得て、無事に行うことが出来ました。

クリスマス

11月25日のクリスマスツリー点灯式、全校生徒によるハレルヤ合唱の練習期間を経て、12月22日には待望のクリスマス礼拝が行われました。厳かなパイプオルガンが流れる中、皆でキリストの生誕をお祝いしました。



スケート研修

中学1,2年生は、2011年3月17日(木)に、サンリースポーツパレスアスパでスケート研修を行いました。はじめは、恐る恐るリンクに入っていた生徒たちも、30分もすれば、転ぶのおかまいなしに、スイスイと氷上を駆け回っていました。

芸術家の卵たち！芸術のルーテル中学校！

私は、母がヴァイオリン講師なので、生まれる前から音楽に囲まれていたような気がします。ヴァイオリンをしている姉とアンサンブルをしたくて、5歳のとき、ヴァイオリンからチェロに変わりました。そして、今は大分のジュニアオーケストラ、熊本のラスカーラオペラ管弦楽団で、オーケストラの勉強をしています。母の教室「たつの音子子合奏団」では、主に老人施設への慰問演奏をしています。



2年1組 龍野 しずく

今年、熊日学生音楽コンクールでは、グランプリを受賞することができました。コンクールの本選の日は、沖縄研修旅行の直後であったため、コンクールへの出場を辞退するか、研修旅行をあきらめるかを考えました。しかし、家族からは一生に一度の中学研修旅行を勧められ、またコンクールへ出場して勉強をしたかったのも、両方への参加を決めました。コンクール当日の演奏では、ミスがあったので受賞は考えていませんでしたが、一生懸命に楽しく演奏できたので、後悔はしていませんでした。そんな中での受賞は、うれしいというよりは、驚きました。今年は、念願の姉との共演が実現しそうです。がんばります。

世界地に伸びる

◀熊本県立大学中学生書道コンクールで796点中、賞29点の中で次の2賞を受賞した3年1組の坂井佑さんの作品

条幅の部3年 富士電機システム賞

条幅の部3年 最優秀賞



▲平成22年度熊本県物乱用防止啓発ポスターにて中学の部銀賞を受賞した3年2組田中晴加さん